



RKK 開局 70 周年記念

## ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者

*Alfons Mucha : Multitalented Artist*

2024 年 2 月 10 日 (土) ~ 4 月 7 日 (日)

ポスター「黄道十二宮」1896 年リトグラフ/紙 チマル・コレクション

アール・ヌーヴォーの代表的な画家アルフォンス・ミュシャ (1860-1939) は、サラ・ベルナルの演劇ポスター「ジスモンダ」など、魅力的で自信に満ちた女性を描いた数々のポスター作品で知られていますが、実際に彼が手掛けたジャンルは非常に多岐にわたりました。本展では、特にデザインの仕事に着目することで、マルチ・アーティストとしてのミュシャの先駆性を紹介します。

チェコ在住のズデニェク・チマル博士のコレクションから、劇場ポスター、書籍の挿絵、ポストカード、お菓子や香水のパッケージ、宝飾品などを中心に、油彩画、水彩画、素描、写真まで数々の貴重な作品を一堂に会し、ミュシャ芸術の全貌をときあかします。

### 作家について

#### アルフォンス・ミュシャ Alfons Mucha (1860-1939)

1860 年、オーストリア=ハンガリー帝国領 南モラヴィア地方 (現・チェコ共和国南東部) のイヴァンチツェに生まれる。1885 年、ミュンヘン美術アカデミーに入学する。1887 年、パリでアカデミー・ジュリアンの学生となる。1894 年、人気女優サラ・ベルナルの演劇「ジスモンダ」ポスターを手掛ける。1895 年、サラ・ベルナルと正式に契約。その後 6 年間にわたり、ポスター、舞台装置、ジュエリーなどのデザインを担当。アール・ヌーヴォーを代表する作家となる。1900 年、パリ万博のボスニア=ヘルツェゴビナ館のデザインを担当。1910 年、チェコに帰国、ズビロフ城をアトリエとする。1911 年、《スラヴ叙事詩》シリーズの制作を開始する。1918 年、オーストリア=ハンガリー帝国が崩壊し、建国されたチェコスロヴァキア共和国の国章、郵便切手、紙幣をデザインする。1928 年、《スラヴ叙事詩》全 20 点をプラハ市に寄贈。1931 年、プラハ城内聖ヴィート大聖堂のステンドグラスをデザインする。1939 年、プラハにて逝去。

### チマル・コレクションについて

#### ズデニェク・チマル博士 MUDr. Zdenek Trimal

ミュシャの故郷チェコ共和国モラヴィアに住む医師のズデニェク・チマル博士は、個人コレクターとして、両親と祖父母からミュシャのコレクションの基礎を受け継いだ後、ミュシャの作品と生涯に対する熱狂的な関心によって、ミュシャの人生と作品の全体像を示す他では類を見ないコレクションを築きあげた。博士のコレクションは 2009 年の企画展「アルフォンス・ミュシャーベル・エポック、チェコの巨匠」展 (ブルノ、チェコ) で初公開されて以降、チェコ共和国内、ハンガリー、日本の多くの都市で展覧会が開催されている。

## 展覧会について

展覧会名：RKK 開局 70 周年記念 ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者

会 期：2024 年 2 月 10 日（土）～ 4 月 7 日（日）

会 場：熊本市現代美術館 ギャラリー I・II

時 間：10:00～20:00（ただし展覧会入場は 19:30 まで）

休 館 日：火曜日

主 催：ミュシャ展実行委員会（熊本市現代美術館 [熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団]、RKK 熊本放送）、熊本日日新聞社

特別協賛：熊本中央信用金庫、テクノクリエイティブ、プレイスグループ

協 賛：岡田珈琲、瑞鷹

後 援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟  
熊本国際観光コンベンション協会、NHK 熊本放送局、J:COM 熊本、エフエム熊本、  
F M791

観 覧 料：一般 1500（1300）円、シニア（65 歳以上）1200（1000）円、  
学生（高校生以上）1000（800）円、中学生以下無料

\*各種障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳等）をご提示の方と付き添いの方 1 名は無料

\*（ ）内は前売/20 名以上の団体/電車・バス共通 1 日乗車券、市電緑のじゅうたんサポーター証、熊本県立美術館友の会証、JAF 会員証をご提示の方

\*前売券は 2023 年 12 月 18 日（月）～2024 年 2 月 9 日（金）まで販売。

\*チケット取扱：熊本市現代美術館、ローソンチケット、セブンチケット、楽天チケット

## 出品予定の作品について

### 【出品作品数】

全169点（内チマル・コレクション初来日約90点）

### 【第1章】 挿絵画家としての出発 Different Ways

〔書籍、雑誌、ポストカード、カレンダー、そのほかのグラフィック作品：合計41点〕

イヴァンチツェ生まれのミュシャが画家をめざしはじめたのは、故国チェコおよびウィーンにあるときであった。20代半ばを過ぎた頃、ミュンヘンを経て芸術の街パリに出てアカデミー・ジュリアンに入学した。パリでのミュシャは、当初生活のため、雑誌や書籍に挿絵などを描いていた。この章では、まったく無名の画家であったミュシャが、夢をつかむために行っていた、才能あふれる初期の仕事の数々を紹介する。

### 【第2章】 成功の頂点— ポスターと装飾パネル Apex of his Career

〔ポスター、カレンダー、装飾パネル：合計25点〕

1895年正月、ミュシャはまさに一夜にして有名になった。女優サラ・ベルナール演じる劇「ジスモンダ」のポスターが一斉にパリの街に貼りだされたのである。それは、ミュシャにとっての栄光への第一歩であるとともに、アール・ヌーヴォーを象徴するポスターのはじまりであった。以後ミュシャはその第一人者としてこの分野で活躍する。この章では、このポスターをはじめ装飾パネルなど、ミュシャ芸術の頂点をなす作品群を紹介する。

### 【第3章】 生活のなかのデザイン Everyday Life

〔商品、パッケージ、各種広告、宝飾品など：合計33点〕

アール・ヌーヴォーの時代は、生活革命、すなわち消費文明のはじまりでもあった。その中で、ミュシャは、さまざまな商品のパッケージを手がけた。既存の図案や新規に考案した図案を、商品の広告に利用したのである。ミュシャは、自らの作品を広告に積極的に利用したはじめての芸術家でもあった。加えて、切手や紙幣、さらには宝飾品に至るまで、生活の中でも用いられたさまざまな商品のデザインも手がけている。この章では生活のなかで見ることのできたこうしたミュシャの仕事を紹介する。

### 【第4章】 プライベートな生活の記録 Family Life

〔写真、素描など：合計12点〕

ミュシャは、身近な人々と生活を写した写真家としても知られている。この章では、ミュシャが撮った写真で、私的な家族や友人たちとの生活を紹介する。また、ミュシャが芸術家になる前、学生時代のノートに走り描きされた素描や、初恋の人に対する純朴な気持ちなどを表現した素描など、ミュシャのきわめてアンティーム（親密な）世界をあわせて紹介する。

### 【第5章】 唯一無二のオリジナル作品 Original is Only One

〔油彩、水彩、素描、挿絵原画：合計58点〕（油彩5点、水彩7点、素描37点、挿絵原画9点）

チマル・コレクションの魅力は、なんといっても、唯一一点しか存在しないオリジナル作品を多く所蔵している点である。なかでも、イヴァンチツェ、ウィーン、ミクロフで描かれた初期の作品群はきわめて貴重であり、ミュシャの早熟な才能を示すものである。また、ミュシャが手がけた『おばあさんのお話』（クサヴィエ・マルミエ著）の挿絵の原画6点も、一か所にまとまって存在するものとして貴重であり、さらには、ミュシャ晩年の重要な仕事である《スラヴ叙事詩》のための習作も含んでいる。この章では、素描、油彩など、これら貴重で魅力的なミュシャの直筆作品を紹介する。

#### 同会場での関連小企画

「小企画：熊本市現代美術館コレクションにみるマルチ・アーティスト」

企画展示室内の一角やフリーゾーンで、ミュシャのマルチ・アーティスト的活動と共通点を感じられる作品を当館のコレクションよりご紹介します。

\*\*\*

#### 関連イベント

##### 開幕記念ミニトーク

日時：2024年2月10日（土）11：00－12：00

場所：ホームギャラリー

講師：ヴァレンティン・ズウィニョウスキー（本展コーディネーター）

定員：50名（当日先着順）

料金：要観覧会チケット（当日有効分のみ、半券可）

チェコの文化・生活の魅力をお話いただきます。ミュシャの作品を一層親しく感じるヒントとなりそうな楽しいミニトークです。（同時通訳付）

##### 開催記念講演会

「ベルエポックの寵児：アルフォンス・ミュシャ」

日時：2024年2月24日（土）14：00－15：30

場所：アートロフト

講師：千足伸行（広島県立美術館館長、成城大学名誉教授）

定員：60名（当日先着順）

料金：要展覧会チケット（当日有効分のみ、半券可）

ヨーロッパ近代、世紀末美術史研究の第一人者の見地より、ミュシャ作品の魅力を講演いただきます。

### ミュシャと音楽のコラボレーション 田中彩子／有島京 リサイタル

Ⅰ部：有島京、Ⅱ部：田中彩子（伴奏：有島京）

日時：2024年3月20日（水祝）13：15開場 14：00開演

場所：熊本県立劇場 コンサートホール

出演：田中彩子（ソプラノ）／有島京（ピアノ）

料金：「ミュシャ展」招待券付きプレミアムチケットS席6500円、A席5800円、車イス席5800円

\*ただいま販売中、お問い合わせ：RKKイベント096-328-5525

### ミュージアムトーク&ミニリサイタル

日時：2024年3月21日（木）11：00-12：00

場所：熊本市現代美術館ミュシャ展会場内

出演：田中彩子（ソプラノ）、有島京（ピアノ）

料金：要展覧会チケット（当日有効分のみ、半券可）

司会：富澤治子（熊本市現代美術館学芸員）

ミュシャ展会場内での特別なひと時をお楽しみください。

### ギャラリーツアー

日時：3月10日（日）、3月30日（土）14：00-14：40

定員：各回20名（先着順）

料金：要展覧会チケット（当日有効分のみ、半券可）

案内：富澤治子（展覧会担当学芸員）

展覧会担当学芸員と一緒に展覧会をめぐるツアーです。

\*\*\*

### 記者発表

2024年2月9日（金）13:30～

\*一般公開 2月10日（土）10:00～

### タイムスケジュール

13:00 受付開始

13:30 記者発表、内覧会開始

・会場案内（担当学芸員によるツアー形式／約60分）

・個別取材・撮影タイム（約60分）

15:30 会場クローズ

\*記者発表および内覧会へご参加予定の方は事前にご一報ください

## 注意事項

- \* 作品保護のため、館内では**鉛筆**をご利用ください。お持ちでない方には貸出をいたします。（ボールペン・シャープペンシルのご使用はお控えください。インク、先のとがったものによる作品の破損を防ぐためです。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします）
- \* 作品保護のため、お手回り品（リュック等）が壁や作品に触れないよう、ご注意をお願いいたします。（会場でご使用にならないお荷物はコインロッカーをご利用いただくか、お預かりも出来ますのでお声がけください）
- \* 受付にてお名刺を1枚頂戴いたします。お持ちでない場合は芳名帳へのご記入をお願いします。
- \* 新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力をお願いしております。

## お問い合わせ先

熊本市現代美術館（広報担当：坂本颯子 学芸担当：富澤治子）

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 TEL：096-278-7500 FAX：096-359-7892

HP：www.camk.jp E-mail：gamadas@camk.or.jp



- ・美術館入口（びぶれす熊日会館3階）まで、通町筋電停又はバス停から徒歩1分です。電車通り側歩道から、エスカレーター又はエレベーターをご利用ください。
- ・「びぶれす熊日会館」の駐車場は、数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

## 広報用画像

広報用画像をご希望の方は下記内容をメールでお知らせください。広報担当からご連絡いたします。

- ① 掲載媒体・掲載時期
- ② 希望画像 No.
- ③ ご担当者様のお名前、ご連絡先（メールアドレス等）

### 【使用に際しての注意事項】

- \* 使用目的は、本展のご紹介に限ります。本展終了後の使用は出来ません。ご使用後は（掲載、未掲載に関わらず）画像データを削除してください。第三者への譲渡は禁止します。
- \* 作品キャプション・クレジットを明記してください。
- \* トリミング、部分使用、文字等を重ねての使用はできません。
- \* 再放送、転載など2次利用をされる場合には、別途申請いただきますようお願い致します。
- \* 基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で担当までお送りいただきますようお願い致します。
- \* 掲載紙・誌、同録 DVD 等を一部寄贈してください。（WEB 媒体の場合は URL をお知らせください）
- \* 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は広報担当までご連絡ください。

	
<p>1      ポスター「黄道十二宮」1896年 リトグラフ／紙 チマル・コレクション</p>	<p>2      装飾皿「ビザンティン風の頭部：ブロン ド」1898年、エナメル塗装／金属 チマル・コレクション</p>
	
<p>3      ポスター「椿姫」1896年、リトグラフ／ 紙 チマル・コレクション</p>	<p>4      連作装飾パネル「一日：朝の目覚め」 1899年、リトグラフ／紙 チマル・コレクション</p>
	
<p>5      ルフェーヴル＝ウティール社ビスケット（ヴド ワール）缶のパッケージ 1900年、リトグラ フ／金属、紙 チマル・コレクション</p>	<p>6      油彩画「エリシュカ」1932年、油彩／カ ンヴァス チマル・コレクション</p>